

【様式 01】 高大連携公開授業シラバス

* 科目 No.	21101
----------	-------

1. 開設大学	広島大学 生物生産学部	開講場所 (キャンパス・施設)	東広島キャンパス
2. 科目名	生命・食・環境のサイエンス		
	学問分野	番 号	33 名 称 農学 (農学, 水産学等)
3. 担当教員	小櫃 剛人 生物圏科学研究科 他 14 名		
4. 開講学期	前期 週 2 コマ		
5. 開講期間 (曜日) 開講時間	平成 29 年 4 月 10 日 (月) ~ 平成 29 年 6 月 5 日 (月) ※5 月 1 日 (月) を除く 14 時 35 分 ~ 17 時 50 分		
	個別開講日		
1 回目 4/10		2 回目 4/10	3 回目 4/17
7 回目 5/8		8 回目 5/8	9 回目 5/15
13 回目 5/29		14 回目 5/29	15 回目 6/5
4 回目 4/17		5 回目 4/24	6 回目 4/24
10 回目 5/15		11 回目 5/22	12 回目 5/22
16 回目 /			
6. 募集定員	80 人 (総授業定員 160 人)		
7. 科目内容・ 授業計画	<p>現代の人類が抱えている食料問題や、資源動植物や食品のサイエンス、人と自然が共存するための環境問題などに関する話題を提供する。</p> <p>15 名の教員によるオムニバス形式で、月曜日に 2 回分を連続で行なう。内容と担当者は以下の通りである (順不同)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生命のしくみ：細胞の姿 (船戸)、呼吸と光合成 (手島)、発生のしくみ (国吉)</li> <li>・牧場からのめぐみ：飼料から畜産物への変換 (小櫃)、健康な動物による安全な食べ物の生産 (吉村)、人間動物関係学入門 (谷田)</li> <li>・大地のめぐみ：土壌の役割 (富永)、遺伝子組換え植物の作製と利用 (藤川)</li> <li>・海と川からのめぐみ：海の生産を支える環境 (小池)、カキ筏の生物群集 (齊藤)、藻場は魚の「ゆりかご」 (小路)</li> <li>・めぐみの利用：腸内細菌と健康 (鈴木)、食の安全と食中毒 (中野)、食資源の多様性と生物進化 (平山)、</li> <li>・食卓へ一恵みの豊かさを問う：食料を作る担い手たち (細野)</li> </ul> <p>各回の担当者は、決定次第通知する。</p>		
8. 受講料	2,000 円		
9. 別途負担費用	テキストは、「生命・食・環境のサイエンス」(江坂宗春監修、共立出版、2011 年) 2,600 円+税 (テキストは、大学生協で購入することができます。初回の講義時に指示します。)		
10. 学習記録	交付する		○交付しない
11. 科目等履修生	受け入れる		
	単位数	単位	
	受入学年	高校 年生以上 (二次募集時 年生)	
	試験・評価		
	特記事項		
12. 開講条件※1 あり・○ない	① 最少開講人数 ( 人) ② 不開講通知日 (7 月 14 日 (金) 以前の開講科目は 3 月末まで / 7 月 15 日 (土) 以降の開講科目は 6 月末まで)		
13. その他特記事項	受講者についての制限事項、事前に予習しておく資料・文献など特記すべきこと 第 1 回目の授業で、テキストと各話題との対応を示すので、それに従って授業前に予習することが望ましい。		
14. 開設大学への 交通手段	<a href="http://www.enica.jp/">http://www.enica.jp/</a> →広島大学→交通アクセス→東広島キャンパス 広島大学生物生産学部 <a href="http://www.hiroshima-u.ac.jp/seisei">http://www.hiroshima-u.ac.jp/seisei</a>		

※1 申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。